

巻頭言

学会公式 Web サイトのリニューアル

神田 智子
(大阪工業大学)

土方 嘉徳
(大阪大学)



2016年11月1日に、本学会の公式 Web サイトをリニューアルいたしました。ご存じと思いますが、2016年は人工知能学会創設30周年に当たります。本学会理事会としましては、この記念すべき年に、デザインや構造が古くなってしまっていたホームページを何ともしもリニューアルしたいと考え、11月11日の記念式典までに新しい Web サイトを立ち上げるという困難な作業に取り組みました。

Web サイトリニューアルに関しては、以前から計画されていたものの、実際に作業が進んでいませんでした。11月の記念式典までにリニューアルを完了させることが大命題となり、執行部から依頼されたのが、2016年6月の全国大会のときで、それを任されたのが筆者ら(2016年度の広報(コンテンツ)担当理事)でした。このときすでに、ホームページリニューアル締切まで5か月を切っており、普通ではあり得ない強行スケジュールでした。しかも、担当者のうち1名は、まだ正式な理事に就任していない中でプロジェクトスタートでした。リニューアルプロジェクト発足後、本学会会長の山田誠二先生の取計りもあり、新しいホームページのデザインやサイト構造、コンテンツの内容を設計するワーキンググループ(コンテンツ主要WG)の活動が始まりました。コンテンツ主要WGには、2013～14年度に広報(コンテンツ)担当理事であられた島根大学の津本周作先生主導で収集された敏腕メンバである青山学院大学の大原剛三先生、立命館大学の服部宏充先生が入ってくださいました。また、ページレイアウトやアイコン画像などのデザインには、島根大学の小池愛様にご協力いただきました。

我々は、Web サイトをリニューアルするにあたり、以下の3点をデザインフィロソフィーとしました。一つは、情報構造のシンプル化です。Web サイトのトップページを見たときに、クリックできるメニューやリンクが限られており、目的のページに飛ぶのに迷うことがないようにしました。これは近年流行りのフラットデザインに通じるところがあり、ユーザの情報探索の負荷を削減することに貢献します。実際のトップページでは、トップメニューは五つに集約し、そのときどきの最新の情報にアクセスするための八つのタイル画像のリンクのみを配置しました。

二つ目は、ページフォーマットの均一化です。学会からは多くの情報が提供されますが、その一つ一つの情報提供のフォーマットが異なると、ユーザに負担になってしまいます。そこで研究会案内や論文募集案内などのタイトルを統一されたフォーマットで表現することにしました。具体的には、各記事のタイトルには【発表募集】や【会誌発行】などの決まった表記で始まるようにしました。

三つ目は、当たり前のことかと思いますが、マルチデバイスへの対応です。近年、学会 Web サイトにはPC以外からのアクセスが多くを占めています。それらのデバイスからのアクセスに対しても、そのスクリーンサイズに合わせた見やすい形式で情報提供する必要があります。そこで、大きな表や、固定のサイズで表示するようなレイアウトは廃止し、スマートフォンなどで見やすいデザイン(いわゆるレスポンシブデザイン)としました。

ホームページデザインが固まった後、実際にホームページのつくり込みを小池様に行っていただきました。また、研究会の開催案内や会誌発行の案内を行うための更新プロセスの検討には、本学会の編集委員会、研究会委員会、企画委員会からも委員を出していただき、共同でその設計を行いました。最後に、学会のHPサーバ上での実装には株式会社シンクワン様、Web サイトの切替えには株式会社ラット様にご協力いただきました。特に、シンクワンの担当者様には、ホームページのデザインの微修正や一貫性の確認を徹底的に行っていただき、見やすいホームページにさせていただきました。これらの突貫工事を経て、無事2016年11月1日にリニューアルした「人工知能学会ホームページ」を公開することができました。記念式典までのリニューアルに間に合い、関係者一同、ほっと胸をなで下ろしました。わずか2か月ほどの間に4回も大阪での打合せに参加してくださったコンテンツ主要WGの皆様、1か月ほどの短期間で実際のWeb サイトを実装してくださった小池愛様、短期間で更新プロセスの検討を手伝ってくださった各委員会のメンバの皆様、本学会サーバ上での実装のために何度もSkypeで打合せしてくださったシンクワンの担当者様、円滑にサイトの切替えをしてくださったラットの担当者様に、心より感謝申し上げます。

本学会創設30周年という節目の年に、多くの人にアクセスしていただけるような情報提供のプラットフォームを完成させることができました。今後、新しくなったホームページ上で積極的に情報を発信してまいります。発信する情報の内容や形式の質を高めていくことで、学会の諸活動の活性化に貢献できればと考えております。ぜひ皆様も、研究会やセミナーへの参加、論文執筆などの際、必要な情報を入手し、有効活用していただければと思います。